

校訓 亦透

学校教育目標 ふるさとを愛し 自らを高め未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

学校経営スローガン “よろこび” が生まれる学校づくり ～すべての子どもたちの笑顔のために、誰一人取り残さない教育の創造～

「じりつ」のよろこび

- ・小さな「できた」「わかった」を積み上げていることの自覚
- ・自分をコントロールするよろこび
- ・やりぬくよろこび

「協働」のよろこび

- ・仲間や他人と力を合わせるよろこび
- ・「仕合わせ」の実感

「貢献」のよろこび

- ・「人によろこんでもらうことをよろこび」とする生き方。

「尊重」のよろこび

- ・人を大切に思い、人から大切にされていると感じるよろこび

「創造」のよろこび

- ・自らの手で、新たなものを創り出すよろこび

めざす児童像

知	徳	体
学ぶことのよろこびを知り、自ら学び続ける子	「がんばること」をよしとし、共に生きるよろこびを感じる子	元気な体と元気な心の大切さを知り、健康に生きようとする子

めざす教職員像

- ・子どもへの愛情と教育への情熱にあふれた教職員
- ・子どもとともに学び続けようとする教職員
- ・子どもののびしろを信じる教職員

” 自分は自分を創っていく責任者 “

” 志期高遠 功貴切近 “

挑戦1：「活用と表現力」の育成をめざした国語科授業改善
「表現するよろこびを感じる八鹿っ子の育成」研究推進

挑戦2： ようか・ふるさとキャリア教育の充実
創立150周年、ふるさとを愛する心を育てる「ふるさとキャリア教育」

生きる力を育む教育の推進

「確かな学力」の育成	「豊かな心」の育成	「健やかな体」の育成	特別支援教育の充実	「ふるさと意識」の醸成	生徒指導の充実
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「活用と表現力」国語科授業改善事業 ■ 「語り」と「対話」による深い学びの創造 ■ ICTの効果的活用 ■ 学習規律と学習習慣の確立 ■ 自主学習の取組の推進 ■ 学習タイムの系統的取組 ■ 読書活動の充実 ■ 演劇ワークショップ活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「東井先生のこぼれ12ヶ月」の実践 ■ 安心して学び、高め合える学級づくりの推進 ■ 「考え、議論する道徳」の実現 ■ 人権尊重の精神、規範意識を高める人権教育の充実 ■ つながり、うるおい、自治を生み出す児童会活動（特別活動） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運動が好きな子を育成する計画な体づくり 体幹・体力向上 ■ 食育、睡眠指導など、心と体の健康を推進する教育の充実 ■ 地域の防災特性を知り、危機を予測する防災教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰一人取り残さない教育の推進 ・ 支援方針の共通理解と共通実践、支援体制の構築 ・ 個別の支援計画、個別の指導計画に基づく着実な指導 ・ 関係機関との更なる連携の推進と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ようか・ふるさとキャリア教育の推進 ・ 東井先生の教えの効果的活用 ・ 地域に学ぶ教育活動の推進 ・ SDGsの理念に基づいたふるさと意識の高揚を図る ■ 兵庫型「体験教育」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人間的なふれあいを通し心の絆を深める生徒指導 ・ 児童の内面理解 ・ 生活指導委員会の定期開催 ・ 「ほうれん草」の効果的活用 ■ いじめ・不登校への組織的対応の強化 ・ メディアについてのルールの徹底

「コミュニティ・スクール八鹿」 学びを支える環境の充実

教職員の資質向上	家庭・地域との連携・協働	小中一貫教育と園小連携の推進
<ul style="list-style-type: none"> ■ 活力ある職員集団の構築 ・ キャリアステージに応じて学び続ける意識を持った教職員の育成 ■ 講師招聘と「研究授業」を足がかりとした研修の充実 ■ 安心・安全な環境づくり ・ 危機を未然に防止するための資質向上と組織としての対応力向上。 ■ 勤務時間の適正化・組織を変える業務改善 ・ 「子どもたちのため」の業務改善の計画的実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創立150周年。「地域とともにある学校づくり」のさらなる充実 ■ 学校への理解と協力を生み出す情報の提供と計画的発信 ■ 地域の人材・素材を生かした特色ある教育活動の推進 ・ 地域とともに活動するクラブ活動 ■ PTAとの協働 ・ 「そうあんの日」、「ねるねるウィーク」「自主学習の取組」 ■ PTA・地域と連携した総合防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「八鹿青溪校区一貫教育」の効果的な展開 ・ 八鹿青溪中学校区における教育目標及び児童生徒の共有化 ・ 9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進 ■ 「連続性」、「互恵性」のある近隣小学校、こども園・保育所・高校との校種間連携の推進 ・ スタートアッププログラムの効果的活用

校訓
亦透
陽気発する処、金石亦透る

学校教育目標
ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

※ 校訓の意味：精神を集中して物事を行えば、どんな困難にも打ち勝つことができる。

【本校で大切にしている言葉】

『自分は自分を創っていく責任者』（東井義雄先生） 『志期高遠、功貴切近』（池田草庵先生）（*夢は大空に、努力は足元に）

【学校経営スローガン】

よろこびが生まれる学校 ～すべての子どもたちの笑顔のために、誰一人取り残さない教育の創造～

風邪は、風邪のためにのみ治療されるべきではない。からだ全体の健康のために治療されなければならない。

「学力」は学力のためにのみ、育てられるべきではない。子どもたちのしあわせのために育てられるのでなければならない。

「東井義雄一日一言」（米田啓祐・西村徹＝編 致知出版社）

八鹿小学校の教育を創造する基本的な態度

- (1) 八鹿っ子は「がんばれる子」だと信じて止まないことから始まる教育を創造する。
- (2) 生きる力を育む根源を「よろこび」であると共通理解し、すべての子どもたちの笑顔を生み出す教育活動を創造する（よろこびは楽しさばかりから得られるとは限らない）。
- (3) SDGs の理念に基づいた「誰一人取り残さない教育」の創造をめざす（児童生徒支援教員を中心とした支援体制の確立）。
- (4) 誰一人取り残さないとは、全員に 100 点を取らせることではない。一人一人が自分の持ち味（良さ）を見つけ、生きるよろこびを感じながら生活させることである。
- (5) 持続可能であるからには、学校も、子どもも、職員も、常に未完成であることの共通理解に基づく。
- (6) 東井義雄先生の言葉を子どもたちに根付かせ、現代版東井教育の創造をめざす。復権・継承・発展。「東井先生の言葉 12 ヶ月」による実践。
- (7) 自己肯定感他人により高められる。子どもたち自身が「がんばっている自分」を自覚できる取組を展開し、自己肯定感の高揚をめざす。
- (8) 結果のみならず、目標を目指す過程を「見つけ」「価値づけ」「4 倍アナウンスする」実践の継続。
- (9) 保護者・地域との信頼関係を築き、子どもと地域の未来への道を切り拓く「八鹿地域とともにある学校」をめざす。コミュニティ・スクール 4 年目、積極的な活用を図る。
- (10) 教育の目標は、人格の完成とともに「より良い社会の形成者の育成」であることの共通理解に基づいた”社会に開かれた教育課程“を推進する。(SDGs の理念共有)。